

研修会報告

平成 27 年 5 月 13 日

文責：生理検査部門 三木 俊

研修会テーマ 「ライブ&レクチャーで学ぶ神経生理検査と診療」

開催日時 平成 27 年 5 月 9 日（土）13:00 ~17:00

会場 東北大学医学部保健学科 1 階大講義室

「これから脳神経検査装置について」日本光電株式会社

ライブレクチャー 1

「ライブ&レクチャーで学ぶ脳波検査の基本手技」～テクニックと応用～

講師：北里大学病院 臨床検査部 小野澤 裕也 先生

ライブレクチャー 2

「ライブ&レクチャーで学ぶ神経伝導検査の基本手技」

～現場で使えるワンポイントアドバイスからピットフォール～

講師：東北大学病院生理検査センター 浅黄 優 先生

特別講演

「脳神経系診療をめぐる最近の話題」～てんかんと脳波検査～

講師：東北大学大学院医学研究科てんかん分野 神 一敬先生

司会：東北大学病院生理検査センター 三木 俊 先生

座長：仙台医療センター 菅原 亜希子 先生

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 47 名 非会員 9 名 賛助会員 0 名 学生 1 実務委員（講師含む）7

名 計 64 名

内容

今回の神経生理研修会では初となるライブ&レクチャーを取り入れた研修会だった。ライブルクチャー 1 では脳波検査の基本手技から応用を分かりやすくレクチャーして頂き、システムリファレンスやデジタル脳波計を使いこなすコツなど、明日から使える大変勉強になる内容だった。ライブルクチャー 2 では神経伝導検査の基本手技として基本的な内容から現場で使えるワンポイントアドバイスやピットフォール、実践ライブなど大変勉強になった。特別講演では脳神経系診療の最近の話題や検査技師に知っていて欲しいてんかんと脳波検査に関する話題、私達が携わる脳波検査の重要性について大変わかりやすくご講演を頂いた。全体を通して、今回の研修会ではビデオカメラで手技をスクリーンで投影し、基本的な手技から教科書に載っていない現場の手技およびコツを学べ、スペシャリスト先生からテクニックを習得できた研修会だった。今回の神経生理研修会は参加者数に不安があったが、会場満席の 64 名と多くの参加者があり、実務員を含めた参加者は途中退席や居眠りすることなく、熱心に聴講し、充実した内容だったと思う。今後も宮城県臨床検査技師

会員のための楽しく学べる生理検査研修会を多く開催し、勉強する場を提供したい。